

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第72号

「一歩前進！」

2023年5月1日

第69号「コウノトリ繁殖のすすめ」から、次なるすすめは偽卵（ぎらん）とお話していました。今回は偽卵を入れたこと、そして一歩前進したお話です。

4月6日巣の上に偽卵を1個置き、翌週の15日に2個目の偽卵を置いて様子を観察していました。すると休み明けの朝、4月17日のことです。飼育スペースに掃除に入り、いつものように巣を確認すると卵が3個になっていました。昨日の飼育担当に「3個目の偽卵を追加した？」と尋ねると、「やっていません」との返事です。ということは、ついに花が産卵したということです！ 花は今まで産卵したことがなく、空と花はいわば同居人のような関係でしたが、花が産卵をしたことで、2羽はペアに昇格したというわけです。

※コウノトリの場合、産卵したつがいをペアといいます。



15日、偽卵が2つ



17日、産卵を確認

コウノトリは1日おきに産卵します。17日に続き、19日、21日と産卵し全部で3個になりました。巢の上には、偽卵が2個と本物が3個になり数也多いため、偽卵を回収することにしました。偽卵の回収は、私と飼育員のかんちゃんです。飼育スペースに入ります。日常の飼育作業では、2人で入ることはありません。2人で入ろうとすると、巢で抱卵していたコウノトリはすぐに離れてくれます。巢にゆっくり近づき、素早く偽卵をとった瞬間、空がクラッタリングをし威嚇しながら巢に飛んできました。私たちが巢から一歩離れると卵を守るようにすぐ抱卵し始めます。偽卵は無事に回収することができました。

抱卵時間は、多い日で23時間以上おこない、空と花が交代で抱卵します。昨年以上の頑張りです。あたたかく見守ってください。



偽卵を回収して卵は3つ



雨の日も抱卵

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい